

AtermITX72/AtermITX62/AtermIT42

Lモードの使い方について

2001年7月

【対応機種&ソフト名】

機種名	ソフト名	バージョン
Aterm ITX72/ITX62/IT42	ファームウェア	Ver.1.20以降
	ユーティリティ(Windows版)	Ver.1.20以降
	ユーティリティ(Macintosh版)	Ver.1.20以降

【著作権者】 日本電気株式会社

【対象ユーザ】 上記のAtermITX72/ITX62/IT42をご使用のお客様

【転載条件】 転載禁止

もくじ

1. お使いになる前に
2. Lモードについて
 - 2.1 Lモードを利用するには
 - 2.2 INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには
3. 電話機から設定する
4. らくらくアシスタントで設定する
5. ATコマンドで設定する
6. ボタン操作で到着お知らせを表示させる

1. お使いになる前に

ファームウェア及びユーティリティをバージョンアップする

Lモードの設定を行う前に、バージョンアップ用のファームウェア及びユーティリティを入手し、それぞれバージョンアップを行ってください。

バージョンアップの方法は、下記を参照してください。

- ・『データ通信ガイド』「Aterm のその他の機能」

2. Lモードについて

2.1 Lモードを利用するには

Aterm は、Lモードに対応しました。Aterm にLモード対応のアナログ通信機器を接続してご利用になれます。

Lメールがメッセージセンタに届いたときに、Aterm の液晶ディスプレイやLモード対応のアナログ通信機器のディスプレイにメッセージがあることを表示させたり、Aterm のMSG ランプを点灯させてメッセージがセンタにあることをお知らせすることができます。

必要な契約

Lモードの契約（有料）が必要です。

必要な設定（P7参照）

アナログポートに接続する機器を「FAX/モデム/Lモード対応電話機」に設定する必要があります。また、Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。Aterm のMSG ランプを点灯させたり、液晶ディスプレイにメッセージがあることを表示するには、「メッセージあり情報通知表示」の設定が必要です。

Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」に設定する必要があります。

Lモードをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

AtermITX72 の電話 C ポートでは、Lモードを使用できません。

アナログポートに接続する機器の設定

機能	パソコンで設定	設定内容
接続する機器	アナログポートの詳細設定画面 （電話 A～B ポート）「よく利用する設定」	「FAX/モデム/Lモード対応電話機を接続」を選択する

アナログポートに接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知させる場合

Lモードに対応したアナログ通信機器を接続しているアナログポートごとに設定が必要です。

機能	パソコンで設定	設定内容
情報通知サービス	アナログポートの詳細設定画面 （電話 A～B ポート）「よく利用する設定」	「メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」 または「ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」を選択する

Aterm のMSG ランプを点灯させる場合

機能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり 情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面 （共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしをMSG ランプで表示する」 を設定する

Aterm の液晶ディスプレイにメッセージがあることを表示させる場合

機能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり 情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面 （共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしをLCD に表示する」を設定する

メッセージが届いたときの表示

メッセージセンタからの情報が、Aterm に通知されるとMSG ランプが緑点灯します。

また、Aterm の液晶ディスプレイにメッセージのあるポートとセンタ番号が表示されます。

メッセージセンタへ電話をかけてメッセージを取り出すと、Aterm の液晶ディスプレイの表示が消えます。

《お知らせ》

- ・「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
- ・ S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- ・ おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
- ・ L モードを利用できる電話番号は、各アナログポートに 1 つのみです。
- ・ L モードに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
- ・ Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
- ・ L モード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ L モードについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本・NTT 西日本の窓口へお問い合わせください。
- ・ L モードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能 S 点ユニットからブランチ接続で L モードに対応している Aterm をつないだ場合は、L モードを使用できません。
- ・ L メール通知と電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、MSG ランプは「緑点灯 オレンジ点灯 ...」をそれぞれ 1 秒ずつ繰り返します。

2.2 INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

Aterm では、INS ネット 64 の INS メッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。

メッセージがメッセージセンタに届いたときに、Aterm の MSG ランプを緑点灯させたり、INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に通知させることができます。

必要な契約

INS メッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

そのほかに INS メッセージ到着お知らせサービスを利用したサービスの契約（有料）が必要です。

必要な設定

Aterm の MSG ランプを緑点灯させたり、液晶ディスプレイにメッセージがあることを表示させるには、「メッセージあり情報通知表示」の設定が必要です。Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」に設定する必要があります。また、メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

AtermITX72 の電話 C ポートでは、INS メッセージ到着お知らせサービスを使用できません。

アナログポートに接続する機器の設定

機能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面（共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしを MSG ランプで表示する」を設定する

Aterm の液晶ディスプレイにメッセージがあることを表示させる場合

機能	パソコンで設定	設定内容
メッセージあり情報通知表示	アナログポートの詳細設定画面（共通設定）「着信設定」	「メッセージあり・なしを LCD に表示する」を設定する

アナログポートに接続した電話機にメッセージがあることを通知させる場合

メッセージあり情報を通知するアナログポートごとに設定が必要です。

AtermITX72 の電話 C ポートでは設定できません。

機能	パソコンで設定	設定内容
情報通知サービス	アナログポートの詳細設定画面（電話 A～B ポート）「よく利用する設定」	「メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」または「ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する（Lモード関連）」を選択する

《お知らせ》

- ・「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
- ・S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- ・おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
- ・INS メッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに 1 つのみです。
- ・メッセージ到着お知らせサービスに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
- ・Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
- ・INS メッセージ到着お知らせサービスの鳴動通知をご利用になる場合、着信を制約する設定（識別着信、迷惑電話防止など）によっては、通知されなくなります。
- ・Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・INS メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本・NTT 西日本の窓口へお問い合わせください。
- ・Lモードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能 S 点ユニットからランチ接続で Lモードに対応している Aterm をつないだ場合は、Lモードを使用できません。
- ・Lメールの通知と電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、MSG ランプは「緑点灯 オレンジ点灯 ...」をそれぞれ 1 秒ずつ繰り返します。

3. 電話機から設定する

Lモードを設定する

《接続する機器の設定》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】を押す。

「電話 A ポート」に設定するときには【1】を押す。

「電話 B ポート」に設定するときには【2】を押す。

【*】【0】【1】【*】【1】【#】【#】を押す。

受話器を置く。

《情報通知サービスの設定》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】を押す。

「電話 A ポート」に設定するときには【1】を押す。

「電話 B ポート」に設定するときには【2】を押す。

【*】【1】【0】【*】を押す。

「メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」に設定するときには【5】を押す。

「ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」に設定するときには【6】を押す。

【#】【#】を押す。

受話器を置く。

INS メッセージ到着お知らせサービスを設定する

《情報通知サービスの設定》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】を押す。

「電話 A ポート」に設定するときには【1】を押す。

「電話 B ポート」に設定するときには【2】を押す。

【*】【1】【0】【*】を押す。

「メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」に設定するときには【5】を押す。

「ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」に設定するときには【6】を押す。

【#】【#】を押す。

受話器を置く。

メッセージあり情報通知表示を設定する

《メッセージあり・なしをMSGランプで表示するための設定》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】【4】【*】【7】【8】【*】【1】【#】【#】を押す。

受話器を置く。

《メッセージあり・なしをLCDに表示するための設定》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】【4】【*】【7】【7】【*】【1】【#】【#】を押す。

受話器を置く。

4. らくらくアシスタントで設定する

アナログポートの詳細設定画面を表示する

1. らくらくアシスタントを起動する。
画面は、AtermIT42 の Windows® の例です。
2. [設定画面/機能] の「アナログポート」ボタンをクリックする。
3. [電話Aポート] / [電話Bポート] / [共通設定] タブをクリックする。
それぞれの設定画面が表示されます。
4. [設定項目選択] の項目をクリックする。
それぞれの設定画面が表示されます。

[電話Aポート] / [電話Bポート] の設定

1. [設定項目選択] の [よく利用する設定] をクリックする。
2. 項目を設定する。

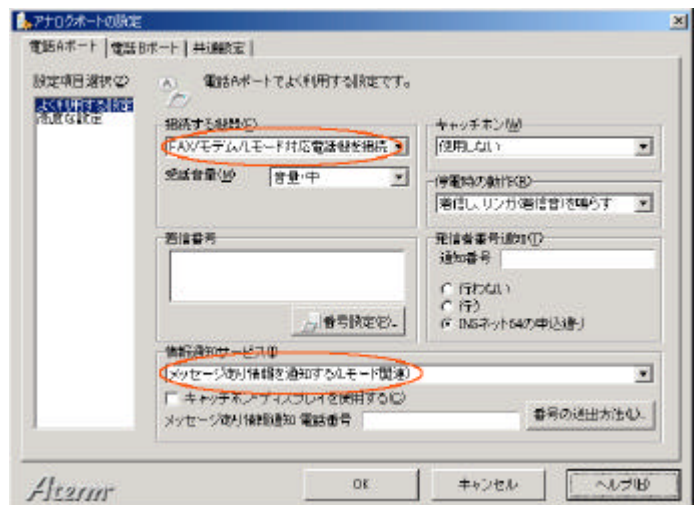
[接続する機器]

「FAX/モデム/Lモード対応電話機を接続」を選択する。

[情報通知サービス]

「メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」または、「ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する(Lモード関連)」を選択する。

3. [OK] ボタンをクリックする。



[共通設定] の設定

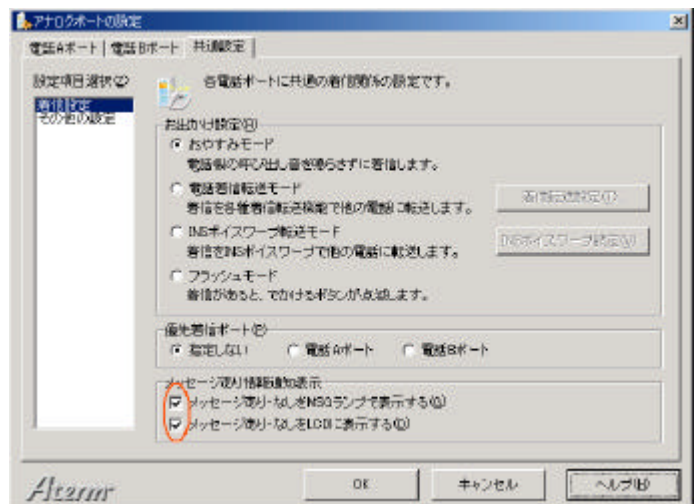
1. [設定項目選択] の [着信設定] をクリックする。
2. 項目を設定する。

[メッセージあり情報通知表示]

「メッセージあり・なしをMSGランプで表示する」のチェックボックスにチェックする。

「メッセージあり・なしをLCDに表示する」のチェックボックスにチェックする。

3. [OK] ボタンをクリックする。



5. AT コマンドで設定する

SA	電話 A ポートの設定と表示
機能	電話 A ポートの設定と表示を行います。
書式	ATSA<パラメータ 1> <=パラメータ 2>
パラメータ	<パラメータ 1> <パラメータ 2>
	<ul style="list-style-type: none"> 0 : 設定内容を表示する 1 : 接続する機器 <ul style="list-style-type: none"> 1=0 : 電話機 (初期値) 1=1 : FAX / モデム / Lモード対応電話機 1=2 : 使用しない 11 : 情報通知サービス設定 <ul style="list-style-type: none"> 11=0 : 情報通知サービスしない (初期値) 11=1 : ナンバー・ディスプレイを使用する 11=2 : モデム・ダイヤルインを使用する 11=3 : アナログ・ダイヤルインを使用する 11=4 : ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する 11=5 : メッセージあり情報を通知する (Lモード関連) 11=6 : ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する (Lモード関連)
入力例	ATSA1=1

SB	電話 B ポートの設定と表示
機能	電話 B ポートの設定と表示を行います。
書式	ATSB<パラメータ 1> <=パラメータ 2>
パラメータ	SA と同じです。
入力例	ATSB1=1

¥F	メッセージあり情報通知表示の設定と表示
機能	メッセージあり情報通知表示の設定と表示を行います。
書式	AT¥F<パラメータ 1> <=パラメータ 2>
パラメータ	<パラメータ 1> <パラメータ 2>
	<ul style="list-style-type: none"> 0 : 設定内容を表示する 1 : メッセージあり・なしを LCD に表示する設定 <ul style="list-style-type: none"> 1=0 : 表示しない 1=1 : 表示する (初期値) 2 : メッセージあり・なしを MSG ランプで表示する設定 <ul style="list-style-type: none"> 2=0 : 表示しない 2=1 : 表示する (初期値)
入力例	AT¥F2=1

6. ボタン操作で到着お知らせを表示させる

メッセージの履歴を確認する

1. [MENU] ボタンを押す。
2. [] ボタンまたは [] ボタンを押して「到着お知らせ」に矢印を合わせ、[ENTER] ボタンを押す。

[到着お知らせ]
参照
削除

3. [[] ボタンまたは [] ボタンを押して「参照」に矢印を合わせ、[ENTER] ボタンを押す。

[到着お知らせ]
電話 A
電話 B

4. [[] ボタンまたは [] ボタンを押してポートを選択し、[ENTER] ボタンを押す。

「情報通知サービス」で「メッセージあり情報を通知する (Lモード関連)」または「ナンバー・ディスプレイ + メッセージあり情報を通知する (Lモード関連)」を設定したポートを選択することができます。この機能を設定したポートがない場合は、「有効ポートがありません」と表示されます。

[電話 A]
センタ番号 1
M1 M2 M3

<メッセージあり>

[電話 A]
センタ情報は
ありません

<メッセージなし>

5. [[] ボタンまたは [] ボタンを押してセンタ番号を選択する。

メッセージセンタにメッセージがあるときは、メッセージのあるセンタ番号とメディア種別が表示されます。メッセージセンタへ電話をかけると、メッセージの内容を確認することができます。メッセージセンタにメッセージがないときは、「センタ情報はありません」と表示されます。

6. 確認が終わったら、[CLR] ボタンを押す。

《お知らせ》

メッセージあり情報 (M1 M2 M3) は、現在サポートされておりません。従って、表示もされません。

《ワンポイント》

メッセージの履歴を削除するには

[MENU] ボタンを押し、[] ボタンまたは [] ボタンを押して「到着お知らせ」に矢印を合わせ、[ENTER] ボタンを押す。

[] ボタンまたは [] ボタンを押して「削除」に矢印を合わせ、[ENTER] ボタンを押す。

[] ボタンまたは [] ボタンを押して履歴を削除するポートを選択し、[ENTER] ボタンを押す。

(「消去しました」と表示される。)